

**国土交通省
管理職ユニオン**

No361号
2022年5月18日
【発行】
国土交通省管理職
ユニオン
【所在地】
東京都千代田区
霞ヶ関2-1-2 中央
合同庁舎2号館
TEL 03-3509-1138
【Email】
k-union@alpha.ocn.ne.jp
【ホームページ】
<http://www.k-unionnetwork/>

第25回国土交通省管理職ユニオン全国大会日程決まる

災害対応での交代制勤務が実現できる
職員の要員確保を迫りましょう！

国土交通省管理職ユニオンは、二〇二二年五月二十八日に、「第二五回国土交通省管理職ユニオン定期全国大会」を、近畿地方で開催する事を決定しました。「新型コロナ禍」は、まだまだ安心できる状況にありませんが、対面での議論を復活させることで、「災害対応の改善・拡充」等の要求をより具体化していきたいと考えています。

全国の組合員、管理職員等の皆さんの意見の結集をお願いします。

■働きがいある 職場への変革！ 3年連続の地整定員 の増を勝ち取る。

内閣人事局や中央・地方での
人事院事務局交渉等を積み上

げ、「一人出張所」の問題、災害
時の具体的な実態と問題点を
訴える中、3年連続での地整定
員の「増」を勝ち取りました。

しかし、職場では、定員「増」
が実感できず、事務所、出張所
での体制拡充を具体的に求め

健康と引き換えの災 害対応はあってはなら ない。

気候変動により災害が激甚

化しているとともに、緊急復旧
も含めた災害対応は長期化し
てきました。また、ダムでの洪
水調整操作や雪害対応も、「空
振り」も辞さない、よりきめ細
かい対応が求められるように
なっています。



しかし、そこに携わる管理職
員は、不十分な管理職特勤手当
で24時間を超える連続勤務が
強いられている実態が多く報
告されています。先頃取り組ん
だ緊急の「管理職員等業務実態
アンケート」(以下、緊急アンケ
ート)では、「災害対応時の交替
制勤務制度の確立が必要」との

声が多数出されており、交替制
勤務の制度化を求めていきま
す。

ワークライフバランス 実現には増員が不可 欠。

年間360時間の超過勤務
上限規制が始まって3年余り
が経過し、コロナ禍も重なり
「在宅勤務」や「リモート会議」
が広く活用されています。部下
が在席で仕事をしなくなった
ことから、管理職は部下の超過
勤務と健康の把握が難しくな
り、業務の進捗把握も一時間、
二時間と負担が増加していま
す。一方でこの間のWLBの
施策は勤務時間の短縮や、通勤
や会議の移動時間の短縮
が図られ、自分の自由な時間が
確保されたと評価する声もあ
ります。そもそも超過勤務をし
なければこなせない業務量と
仕事のやり方が問題であって、
職場の増員は不可欠です。

■60歳以降の働き方を
充実させる。
**経験と知識が活
かせる職務を！**

過去、年金支給年齢が引き上げられ、「再任用」制度が作られました。管理職ユニオンは「豊かな60歳以降の生活を過ごす」為に、処遇の改善として指導官、主任指導官の設置を勝ち取りました。しかし、「働きがいある60歳以降の仕事」の面では、必ずしも充分な到達点を築いていません。

来年度、定年退職を迎える昭和38年生まれから定年制延長による労働者が生まれます。10数年も経験した「再任用」制度を踏まえ、職場から必要とされ、60歳以上の労働者に働きがいがある「定年延長」制度としていく必要があります。その為にも本省・整備局当局に「定年延長」制度の運用方針を明らかにさせていく必要があります。

組織の課題

■ユニオンを強く大きく。
ユニオンは民主主義の塔

○コロナ禍を乗り越え、
本音の話し合いをより深く

管理職ユニオンの基本的な活動は、『第1に話し合う「分会集会」を行うこと。第2に「機関紙宣伝」で要求を訴え職場世論を作ること。第3は「交渉」で権限を持つ本省、人事院、内閣人事局等に実現を迫ること。』と考えています。

しかし、足かけ3年目を迎えたコロナ禍の中で、酒を酌み交わしながら“本音で意見を交わす”「分会集会」が現実的に出来ない状況になり、運動が停滞しているのは否定できません。コロナ禍は沈静化しつつあると思えますが、従来の「分会集会」を慎重に再開しつつ、組合員間や職場の新たなコミュニケーションの取り方が大きな課題と考えています。

○一人の声では難しい問題でも、
多数の声があれば解決できる。

今、岸田内閣はロシアのウクライナ侵攻に対し、憲法9条に反する戦闘用具ともなるドローンなどを支援しています。力と力のぶつかり合いはどちらか一方が倒れるまで続きます。解決は国際世論、「平和と民主主義」を求める世論が鍵を握っていると思います。

私たち管理職ユニオンは、労働組合として「民主主義」を実践する組織です。当局は「風通しの良い職場」を様々な機会でも口にできるようになりました。私たち管理職ユニオンも本当の意味での「風通しの良い職場」を目指しています。一人一人の不満不平を、みんなの議論で一致できる要求とし、改善を求めていく、「民主主義」を貫く運動を行っていきましょう。

**職場の組合員の皆さん、職場の皆さん、
国民の生命財産を守る仕事を、誇り高く行っ
ていくためのご意見とご協力をお願いします。**

■働いて良かったと思える
処遇を

■上位級定数改善で
「省の格付」アップを
当面、事課長・出張所
長の6級昇格改善
を！

絶対量の業務量が多い中で超

います。

また、人事院がホームページ

過勤務前提の仕事のやり方が

私たちは、防災対応や公共事

出張所長の6級定数は増加し

あって、経済的処遇が悪くない

業に携わるものとして、それに

出張所長が6級定数は増加し

と思われ、級別定数改善等によ

相応しい処遇を求めたいと考

ていますが、その増加に見合う

る処遇改善が充分行われな

えています。具体的には、8級

発令がなされていません。与え

ったこと。一方でキャリア系の

9級格付の事務所長の直近の

世論を広げ、本省・整備局当局

地方整備局いわゆる旧建設
省は、未だに処遇はよくありま

